

う決まりはあるが、金額の上限は決められていない。ただやはり必要な時に使えるのは現金なので、バランスを見ながら購入額を決めている。

質 令和5年度決算の後の財政状況はどうなるのか。公債費比率は。また今後小学校建築の返済や駅事業などを踏まえて、何年くらいが高くなっていくのか。

答 (政策推進課)

毎年、予算議会では法令に基づき実質公債費比率を提示しているが、令和22年度に9.9%で一番高くなる見込みとなる。

質 男女共同参画についての決算金額は5万28

15円と少額だが、どういう事業をやったのか。令和5年度、男女共同参画の進捗状況はどうだったのか。全国的には人口減



少の要因として若い女性の流出が深刻だが、当町のデータはどうか。それを踏まえて対策はしているか。女性の声が届きにくい町になっていないか。

答 (政策推進課)

講師を呼んで講演会をやった謝礼が主である。昨年度に男女共同参画プランを更新したが、女性活躍の数値目標も掲げており、女性管理職や様々な審議会の女性メンバーも少しずつ増えてきたところである。当町の人口動態については、20代の女性が転入ともにも多いというデータを把握している。様々な方法で女性の意見を聞ける場を作っていくかなくてはならないと考えている。

一般会計決算審査特別委員会報告書（抜粋）

1. 審査の結果 採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。
2. 審査の内容 歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がなされたかを中心に審査を行いました。なお、次のことについて留意されたい。
 - (1) ふるさと応援寄附金返礼品の経費が高額なものについては縮減に努め、適切な額となるよう取り組まれない。
 - (2) 西平畑公園給水ポンプなどの更新については、計画的に実施するとともに不測の事態に対応できるよう、各施設においても危機管理体制に万全を期されたい。
 - (3) A I オンデマンドバス・スポーツツーリズム推進事業・ジビエ処理加工施設の運営など、大規模事業に関しては適宜、進捗状況を報告されたい。

認定第1号 令和5年度松田町一般会計 歳入歳出決算の認定について【討論】

反対討論

寺嶋 正 議員

令和5年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の立場から討論を行います。歳入決算額は前年度対比3.1%増の59億2011万円、歳出決算額は前年度対比2.7%増の54億1754万円で、歳入歳出差引き5億256万円の剰余金が生じ、繰越明許費の「松田中学校整備事業」ほか7事業に係る翌年度への繰り越すべき財源7066万円を除いた実質収支額は4億3190万円となりました。実質収支残高が多くなっており、適切な予算措置と事業執行に努められたい。

歳入では、自主財源の主たる町税は15億6334万円となり、依存財源の地方交付税は13億5728万円、国庫支出金は8億2373万円、町債2億2000万円となりました。歳出では、人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は23億2478万円となりました。令和5年度末の地方債現在高は53億7437万円となり、結果として町税の不納欠損額は659万円、収入未済額は5098万円もあり、収納向上対策が求められています。

普通建設事業では、松田中学校校舎改修工事、松田小学校太陽光発電設備整備工事、町道19号線町屋踏切改良工事など実施しました。今後の新松田駅周辺整備事業では、再開発によるビル建設や北口駅前広場整備事業などの大型事業が控えており、扶助費や公債費の増加等で厳しい財政運営が予測され、町民サービス低下を招かないような町政運営を行うことです。

18歳までの小児医療費助成事業や空き家の利活用のための改修や解体への補助事業などは評価しますが、事業の未執行や不用額が多く見受けられるので十分精査すること。新松田駅南口駅前広場整備事業が滞っており引き続き尽力すること。A I オンデマンドバス実証実験では、運行エリアを拡大し利便性の向上を図り、利用者を増やして持続可能な事業にすること。町消防団員は定員数に対して大幅に下回っており、町民の生命と財産を守る立場から団員を増やすことなど申し上げて決算の反対討論とします。